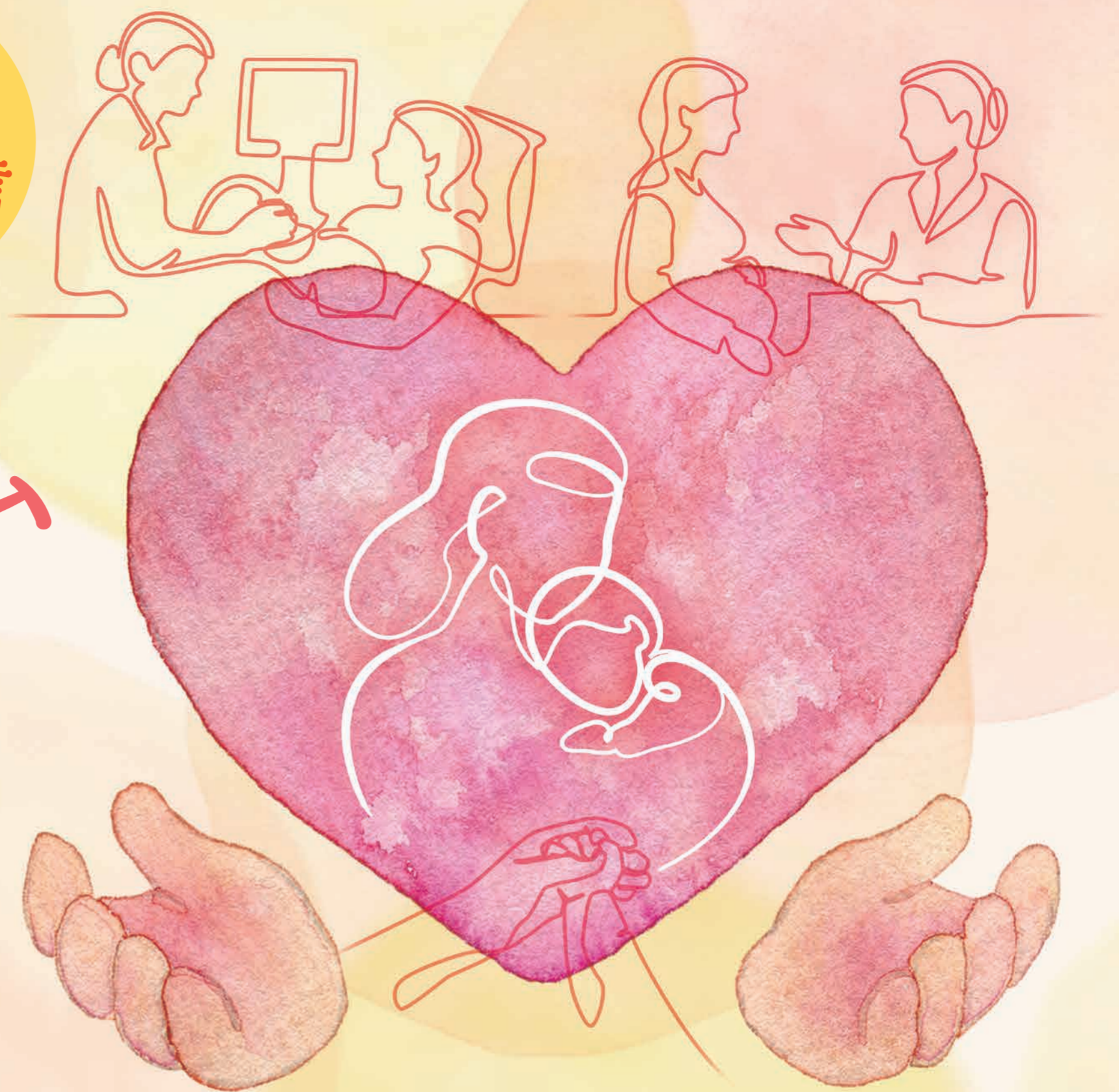


第39回 周産期学 シンポジウム

全講演
Web配信



周産期における
社会的支援を考える

2021年1月22日(金)・23日(土)

会場 札幌コンベンションセンター

会長 長 和俊 北海道大学病院
周産母子センター センター長

1月22日(金)【プレコングレス】 16:00～18:30

N CPR2020
公認
アップデート
講習会

講演 1. JRC ガイドラインに基づいた新生児蘇生法 2020

細野茂春 (自治医科大学附属さいたま医療センター周産期科新生児部門)

講演 2. 地域において特定妊婦とその子育てを支える医療機関の役割

石倉亜矢子 (函館中央病院小児科)

講演 3. 貧困問題からみた子ども虐待

松本伊智朗 (北海道大学教育学研究院教育学部門教育社会学分野)

1月23日(土) 周産期学シンポジウム：周産期における社会的支援を考える 9:00～16:40(予定)

【午前の部】 精神疾患・メンタルヘルス

座長：宮越 敬 (社会福祉法人聖母病院産婦人科)

1. 東京都城南地区における周産期メンタルヘルスケアの取り組み

小久保雅代 (長野県立こども病院 総合周産期母子医療センター新生児科)

2. 産後うつ病のリスクとなる周産期因子，社会的因子の検討

白土なほ子 (昭和大学産婦人科)

3. 多職種連携を要する社会的ハイリスク妊産婦の検討 ～精神疾患合併妊娠における支援の実情と課題～

笠井真祐子 (山梨県立中央病院総合周産期母子医療センター産科)

小林知子 (名古屋大学産婦人科)

4. 精神疾患関連妊婦における産後のうつ傾向および授乳が母児に与える影響に関する研究

松浦 玲 (昭和大学横浜市北部病院産婦人科)

【ランチョンセミナー】

【午後の部】 ハイリスク妊婦・新生児

座長：村越 毅 (聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター)

1. 特定妊婦および要支援児童への多職種チームでの介入に関する後方視的研究

森岡一朗 (日本大学医学部小児科学系 小児科学分野)

2. 宮城県における未受診妊婦・未受診妊婦飛び込み分娩に関する検討 ～虐待予防の新たな対策～

遠藤真美子 (千葉大学小児科)

星合哲郎 (東北大学病院産婦人科)

3. 神戸市母子保健情報を活用した3歳児の発育予後に関連する因子の検討

京野由紀 (神戸大学小児科)

4. NICU入院児の児童虐待のリスク要因 - テキストマイニングによる面接内容の分析

龜山千里 (総合病院土浦協同病院新生児集中治療室)

5. 「依頼演題」すべての妊産婦を支えたい。母子保健における妊産婦支援 ～気がかりのある妊婦の把握から支援，医療・福祉との連携について～

鍛治みか (和泉市立保健センター和泉市子育て健康部健康づくり推進室 健康増進担当)

シンポジウム参加費：

すべて事前登録とします。注1・注2

参加費には演題のWebでのオンデマンド視聴の権利が含まれます。

事前登録期間 2020年9月23日(水)～12月21日(月)

医師 11,000円

医師以外の有職者 5,000円

学生 無料

医師：初期研修医，専攻医を含む

医師以外の有職者：看護師，助産師，保健師，行政職など

学生：大学生，医師以外の大学院生など

注1：新型コロナウイルス感染症拡大のためWebのみの開催となる可能性があります。

注2：事前登録の参加費は原則として返金できません。

懇親会参加費：無料注3

注3：Webのみの開催の場合，懇親会は行われません。

事務局(連絡先)：

株式会社コングレ北海道支社

〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目2-12 住友生命札幌ビル

TEL：011-233-0005 FAX：011-233-0035

